



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成 29 年 2 月 21 日(火) 第 2792 回 例会 (本年度第 27 回)

3月 7 日(火)	新入会員スピーチ 榎本久静子君
3月 14 日(火)	うどん打ち家族例会
3月 21 日(火)	ゲストスピーチ 雪から電気をつくろう 高橋 剛氏
3月 28 日(火)	RI規定休会

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/



会長報告

会長/加藤 亨

本日は國井社長のゲストスピーチを頂くことになっておりますので短めの報告とさせていただきます。

1905 年 2 月 23 日にポール・ハリスと 3 人の友人により公正な取引と仕事上の付き合いがそのまま親友関係に発展する仲間を増やす目的でロータリークラブが誕生しました。その後、志を同じくするクラブが生まれ今日のロータリーがあります。

歴史的にもロータリークラブは職業倫理を重んじる職業人の集まりで、幅広く奉仕活動を行っていることは素晴らしいことだと思います。

当クラブも 57 年という長きに渡り先輩ロータリアンにより多くの実績を残しておられるので、私も会長職を務めさせて頂いているのだと思います。そして今いるメンバーも胸を張って良いことだと思いますし、これからも成長させていく義務でも有ると思います。

RI 会長よりメッセージが届いているので紹介します。

『2017 年 3 月 25 日～31 日は「国際奉仕ウィーク」でロータリーを始めとする多くの奉仕団体が協力して活動する週間です。「人類に奉仕するロータリー」の精神の下、皆様も地元奉仕団体と一緒に活動をお願いします。』とのことですので皆さんも年度末で難しいとは思いますが、どんな小さなことでも良いので参加してみたいはいかがでしょうか？

次に米山奨学生の王君は残り 2 ヶ月ですが、4 月からはベナン出身の山大王生「ゴンドルブ・マリエッタ・ニョンブアンラ」さんを当クラブが 2 年間お世話します。今回も藤川さんにカウンセラーを引き受けて頂いたことを報告させていただきます。また次年度青少年交換学生の受け入れでホストファミ

リーを皆様をお願いをする必要がございますので宜しくお願いいたします。

最後に先週関東に春一番が吹き、桜の開花予想も 3 月 25 日で発表されました。東江戸川ロータリーの観桜会の日になっておりますので多く皆さんに参加していただけますように早めにご返事をお願いして会長報告といたします。

幹事報告

幹事/富田 喜美子

○ガバナー事務所

①ロータリー米山記念奨学金申込書

②青少年交換スプリングキャンプについて

青少年交換委員会オリエンテーション会議資料

③職業奉仕セミナー開催のご案内

日 時：4 月 2 日(日) 登録：9 時

会 場：天童ホテル 2F

登録料：一人 2,000 円

○米沢上杉ロータリークラブ

創立 55 周年記念式典・祝賀会の開催について

日時：29 年 11 月 18 日(土) 登録：午後 1 時

会場：グランドホクヨウ

庄交グループの成長戦略

(株)庄交ホールディングス 代表取締役社長 國井 英夫氏



荘内銀行で学んだこと

後半の 40 代からほとんど企画の仕事を担当しました。前任の町田頭取から大変鍛えられました。無から有を生じる、金融は難しい分野ですが、何も無いところから

どうやってビジネスモデルを作っていくか、商売をやっているとこれの連続です。このやり方を町田さんから徹底して教えられました。

出席報告

会員数	34名
出席	20名
出席率	68.97%
前々回確定出席率	86.21%

■RI 会長 ジョン・F・ジャーム ■地区ガバナー 長谷川 憲治

■会長/加藤 亨 ■副会長/武田啓之 ■幹事/富田喜美子 ■会長エレクト/木村 節
■会報委員会/阿蘇司朗・迎田 健・菅原成規・前田 優・真島吉也

事務局：山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

昨年の6月に頭取は退任、丸8年間頭取として皆様から多大なご支援をいただきました。退任後は地元鶴岡で出来る精一杯の事をしようと思っています。庄交グループの戦略の選択

庄交グループは13の事業を行っています。グループの売上は大体100億、従業員数は1千名おります。地場を代表する企業グループが元気かそうでないかでだいぶ地域経済は様相が変わってくると思います。どうやったらこの企業グループが元気な事業で発展できるか、ビジネスモデルと言いますが、儲ける力をどう構築していくか、7月に就任してからまとめたのが以下の事です。

○インバウンドへの参入

外国人はもちろん、庄内以外からの誘客を私はインバウンドと捉えています。北海道では千歳空港を中心に外国人だけでも年間270万人が訪れています。山形県は6万4千人で、東北全体でも外国の方は27万人しか来ていません。東北6県で北海道の10分の1です。今後仙台空港が民営化され東北のハブ空港として大きく生まれ変わっていくと思います。そういうことを踏まえインバウンド事業を展開していく事は、庄交グループの売上を伸ばしていくビジネスモデルとしては1番だと考えました。

○バス事業とトラベル事業の融合

インバウンドが増えて今問題になっているのは足回りです。飛行機であれ、JRであれ、高速バスであれ、東京、京都などのゴールデンエリアから地方に移動する場合、先進国と比べると日本は貧弱であると言われています。日本の地方のバス会社が外国の観光客を受け入れる体制に成りきっていない、これが問題だと思います。当社グループはそういう意味では路線バスから貸切バス、高速バスとありますが、足りないのは高速バスです。仙台には1日10本、東京は日に2本走っています。4月28日になると思いますが、ゴールデンウィーク前に京都経由大阪行を最終地USJの入口まで運行する予定です。それと4月1日から日に2本仙台空港までの直行便を運行します。2、3年は赤字だろうと思いますが、将来は大変な黒字路線になると見込んでいます。それと庄内から見ると名古屋が大変不便だという事があって、いずれ関西便が整備されれば名古屋便も運航していこうと思っています。S-MALL北側のターミナルも今整備しています。当社グループの力からすれば非常に大きな投資ですが、出来上がれば、東北でも一番立派なバスターミナルになると思います。3月いっぱいまで完成、4月1日オープンと同時に仙台空港直行便がスタートします。ビジネスモデルとしてはバス路線の拡張に伴ってトラベル事業がついていくというイメージです。すでに1月から大阪の中之島と東京の西葛西にトラベル事業部の営業部を設置し、現地で経験豊富な人員を確保しました。仙台にも開設しました。観光資源に経営資源の選択と集中をしていくという戦略です。第一ホテルはイ

ンバウンドでは大変大事な役割を果たします。5月下旬ころから改修に入ります。相当大的な投資をしますが、改修が終わるとシティホテルらしくなりますのでご期待ください。

観光物産館は第二の拠点として当社グループが拡張整備していきます。S-MALLは人口10万そこそこの都市で、中心市街地にこれだけの商業施設があるのは全国的にも珍しい。住民の皆様への地域貢献という意味も含めて、これから2040年問題がありませが、たとえ人口が減ってもS-MALLは無くしてはいけない施設だと思っています。2月24日から東急ハンズが出店をいたします。どうぞご利用ください。

人口減少・高齢化社会の中でビジネスモデルをどこに求めていくか皆様もお悩みだと思います。荘内銀行時代と同じですが、我々は庄内にこだわっていく、事業のトップラインを上げていくのは庄内を超えていくことが必要だと思います。庄交グループもこの地域鶴岡、酒田2代拠点にこだわりながら、地域を超えて事業を拡大していきたい、それがインバウンドであります。外国人を含めて多くのお客様をお招きするというのは今手を付けたばかりです。何が何でもこのビジネスモデルはやり遂げるつもりでいます。

女性登用時代と言われ、当グループでも優秀な女性が多くいます。社員1000名のうち女性が6割です。その方々のためにも事業領域を拡大し女性登用を推進したいと考えています。時間になりました。話足りない思いがあり、機会があれば次回お話しさせていただきます。有難うございました。

委員会報告

出席委員会

◆ゲスト

(株)庄交コーポレーション

(株)庄交ホールディング 代表取締役 国井英夫氏
米山奨学生 王莫非君

◆メイクされた方

藤川享胤君 木村節君 加藤一弘君 富樫松夫君
加藤亨君 丸山隆志君 越智茂昭君 菅原成規君
富田喜美子君 榎本久静子君



菅原成規君 国井社長卓話ありがとうございました。

私も微力ながら協力していきたいと思っています。

佐藤孝子君 これからの庄内・鶴岡の発展とっても楽しみです。

木村 節君 国井社長ありがとうございました。

加藤 亨君 国井社長貴重な話ありがとうございました。いろいろ考えさせられました。

※国井英夫氏よりスマイルをいただきました。